

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	病児・病後児保育				所管	教育委員会 児童保育課	
	行政計画	事業NO.	211	計画事業名	病児・病後児保育		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成 [小 柱] (2)就学前児童に対する教育・保育の充実 [施 策] ②多様な保育サービスの展開			事業の開始・終了年度 [事業開始] 平成16年度 [終了予定] - 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区病後児保育事業実施要綱 台東区居宅訪問型病児・病後児保育利用料助成事業実施要綱(平成28年4月開始)			
	事業対象	台東区に住所を有する生後6か月から小学生(施設型病後児保育事業は小学校就学前)まで					
	事業目的	病気の回復期にあり、保育園で集団保育ができない児童等を専用施設で預かること及び病気やけがなどで保育園等に登園できないときに利用したベビーシッターサービス等の利用料の一部を助成することで、保護者の子育てと仕事などの両立を支援する。					
事業内容	1. 施設型病後児保育事業(区に登録が必要) (1)実施施設 ソラスト三ノ輪(認証保育所に併設) (2)定員 4名 (3)利用料 1日 2,000円(減免有) 給食費300円 (4)保育時間 8時30分～17時30分 2. 居宅訪問型病児・病後児保育利用料助成事業(平成28年度より開始) (1)対象費用 医療機関受診を伴う病気等により利用したベビーシッター等の派遣による保育サービスの利用料 (2)助成金額 対象サービスの利用料の半額(児童1人あたり年間4万円上限) 対象事業者の制限あり						
委託の有無	一部委託	委託内容		施設型病後児保育事業実施委託			
補助金の有無	国・都						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度
	活動指標	施設型病後児保育定員	人	4	4	4	4
		成果指標	施設型病後児保育登録者数(8/1現在)	人	500	306	382
	成果指標	施設型病後児保育延利用者数	人	200	193	143	180
		決算額 (単位:千円)				6,839	6,953
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			852	850	787
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			6,839	6,953	6,997
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0
		総経費			7,691	7,803	7,784
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			3,460	2,817	4,115		
一般財源(区負担額)			4,231	4,986	3,669		
前回評価から改善した事項	施設型病後児保育事業の広報について見直しを行い、平成28年度から実施する居宅訪問型病児・病後児保育利用料助成事業の周知と併せて、事業PRのポスターを作成し、区内保育施設等に配布した。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	子育てと就労の両立を支援する事業として、引き続きニーズは高い。				
	効率性	3	事務事業コスト及び延利用者数に大きな変化はない。 平成27年度からの子ども・子育て支援新制度開始に伴い、国及び東京都からの補助金が増額された。				
	手段の適切性	3	医療分野に実績のある事業者に事業委託しており、手段はおおむね適切である。				
目的達成度	2	平成27年度の延利用者数は、前年度より増加したが、目標値を達成していない。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
施設型病後児保育については、延利用者数は目標に達していないが、登録者数は増加傾向にある。平成28年度から病児対応を加え、病児・病後児保育事業は、いざという時のためのものであり、必要な時にスムーズに利用できるように事前の周知を行い、事業を実施していく。							